



# Pre-pre 12月の生活表

保育日数 12日

2023年12月  
聖マリア幼稚園  
Pre-pre クラス

年主題  
月主題  
月のねがい

ともにつむぎだす ～希望の中で～  
うれしいね



- ・保護者や友だちと一緒にクリスマス喜び、お話や賛美を楽しんで受け取る
- ・保護者や友だちと喜びを言葉や身体で表す
- ・風や空気の冷たさ、日の入りの早さなどを感じ、冬の訪れを感じる

陽のあたる窓際やお庭で遊んでいると、汗ばんでいた数週間前がウソのように季節はあっという間に秋を飛び越えて冬になりましたね。

平安神宮のどんぐりも例年のように歩道にたくさん落ちていることもなく、いつもならたくさん落ちている色づいた葉っぱも色づく前に枯れて落ちてしまったり「異常」という言葉で片付けてしまってよいのかどうか…もしかするとこれが「当たり前」になってしまうのかなあと少し心憂いてしまう今年の秋でした。

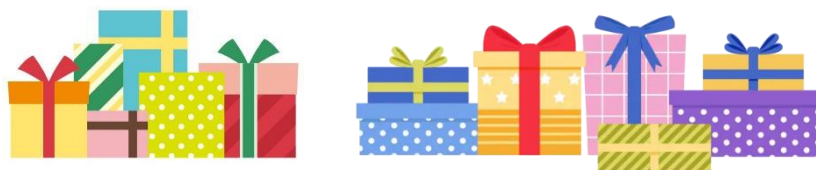
そんな現在にあっても、ずっと変わらずあり続けているものがあります。

それは私たち聖マリア幼稚園が一番大切にしている神様のおひとり子が、お生まれになったクリスマスをお祝いすることです。「クリスマス・ページェント」

(聖劇)としてこの聖マリア幼稚園が建てられてから110余年…変わらず守ってきた大切な礼拝です。昨今のイベント化したクリスマスやサンタクロースのおじいさんがやって来て、クリスマスプレゼントをもらえる日ではありません。ご縁があってこの聖マリア幼稚園につどって下さったプレプレクラスの皆様にも本当のクリスマスの意味を知って頂き、このうれしい日をご一緒にお祝したいと思えます。

この一年、通って下さった期間は違っても頑張ってお通って頂きましてありがとうございました。少し早いですが、一年の感謝と御礼を込めて

メリークリスマス!! 来年もどうぞよろしくお願い致します。



## 《チャプレンコーナー》

**年聖句：**キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

(エフェソの信徒への手紙 2：17)

**月聖句：**ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。

(旧約聖書・イザヤ書 9:5)

先日、幼稚園の手洗い場で、子どもに声を掛けられました。「先生は緊張しない？」2,3 言葉を交わしてみて、それが、感謝祭の発表で緊張しないか、という意味だと分かりました。「先生はいつも通りお祈りするだけだから、緊張しないよ。」「それでも、いつもと違ってお家の人がたくさん来るから、緊張しない？」この子は、自分の発表を前に、とても緊張しているようです。子どもたちにとって、一つ一つの出来事は、全て初めての経験で、喜びも、緊張も、とても大きいのでしょう。それに対して私は、「毎年行う行事の一つ」という意識が強く、緊張しない代わりに、成長もあまりありません。

「もういくつ寝るとお正月」の歌のように、子どもの頃は一つ一つの出来事が、待ちに遠しく、時間の経つのが遅いものです。ある学者さんの研究によると、18 歳位に自分の体内時計と現実の時間とが一緒になり、それ以後は、どんどん「時間が早く過ぎる」と感じるようです。

聖書の中の人々は、大人になっても時間の進み方が早くなかったようです。

「救い主」がこの世界に来られることを、今か今かと、待ち望んでいました。それも何世代にもわたって。預言者イザヤは、紀元前 8 世紀に活躍していました。当時ユダヤの国は、隣国のアッシリアから攻められ、存亡の危機に立っていました。その中で、一人の子どもとして降臨される救い主の誕生を預言しました。彼の預言はなかなか実現しませんでした。それが実現したのが、紀元元年、イエス様の誕生でした。それまで何百年ものあいだ、人々は飽くことなく、ずっと待ち続けていたのでした。

クリスマスの準備が始まります。子どもたちは、楽しみにしてクリスマスの時を待ち望みたいと思います。



## 《生活指導》

🎄 自然の移り変わりに目を留めてみましょう。

- ・風の冷たさ、音。樹々の変化、山の色の変化、登校園途中の様々な発見を大切に、冬の訪れを感じてみましょうね。

🎄 自分で出来る事は自分でやってみましょう。

- ・寒くなると上着を着る機会が多くなりますね、ジャンパーのボタンやファスナーが自分で出来るように練習してみましょう。出来ない時には『〇〇してください』とお願いのことがばが伝えられるといいですね。

🎄 健康管理に留意しましょう。

- ・帰宅後の手洗い（指の間・手の平と甲・手首）をしっかりさせてみましょう。
- ・暖房器具が活躍する季節になりました。換気と乾燥に気をつけましょう。
- ・こどもたちの肌の感覚（汗をかく、冷たい風に当たる）を養いましょう。

🎄 家の中で、お手伝いが出来ると嬉しいですね。

- ・年末には、子どもたちも家族の一員として子どもたちが出来る範囲のお手伝いをして責任が果たせるように話し合ってみましょう。

🎄 年末年始には、隣近所の方としっかりご挨拶が交わせるようになりましょう。

